

よこはま動物園ズーラシア ツシマヤマネコの「ちから」が死亡しました



元気なころの「ちから」

よこはま動物園で飼育していたツシマヤマネコの「ちから」が死亡しましたので、お知らせします。

○ツシマヤマネコ「ちから」

- (1) 性別 オス
- (2) 出生日 不明(平成18年7月25日保護/推定16歳6か月)
- (3) 死亡日時 令和4年11月6日(日)午前8時30分死亡確認
- (4) 死因 腎不全の疑い
- (5) 経過 令和2年12月下旬に体調を崩し、後肢のふらつきが確認されるようになりました。高齢のため動物病院で動物福祉に配慮した飼育管理を行っていました。11月3日以降、食欲廃絶となり11月6日死亡を確認しました。

●ちからのプロフィール

平成18年7月に野生で保護された後、対馬野生生物保護センター、九十九島動植物園、福岡市動物園を経て令和元年11月7日によこはま動物園へ来園しました。令和2年3月から12月まで展示個体としてツシマヤマネコの普及啓発や調査研究に貢献していました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

横浜市SDGs認証制度



お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■ツシマヤマネコについて

和名	ツシマヤマネコ
英名	Tsushima Leopard Cat
学名	<i>Prionailurus bengalensis euptilurus</i>
分類	食肉目 ネコ科
分布	日本 長崎県対馬
生態	長崎県の対馬にだけ生息する野生のネコで、島の住民には「トラヤマ」と呼ばれています。東南アジアから中国・朝鮮半島まで広く分布するベンガルヤマネコの亜種だとされています。大きさはペットのイエネコと同じくらいですが、耳の後ろの白い斑紋と、太くて長い尻尾が特徴です。生息頭数は90頭ないし100頭と推定されており、絶滅が危惧されています。国の天然記念物及び国内希少野生動植物種に指定されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅱ： 現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
国内飼育頭数	11施設 29頭（オス 14頭、メス 15頭）※令和4年10月末現在
当園飼育頭数	2頭（メス2頭） ※今回死亡した個体を含まず

■よこはま動物園ズーラシアについて

◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料

毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）

よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上 2,000 円

◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）

◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1、1/4 ※1/3 は開園

◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間

◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1

◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

・屋外において近い距離で会話をする場合や、屋内施設をご利用の際は、マスクの着用をお願いします。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。